

科目名称：	音楽表現指導法Ⅱ/実習Ⅱ	
担当者名：	上野 高裕、水上 和子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	実習	1
授業の目的・テーマ		
前期の音楽表現指導法実習Ⅰを継続して行う。さらに授業の後半には、学科行事であるミュージックフェスティバルの練習や小道具の作成も行い、表現研究の集大成とする。		
授業の達成目標・到達目標		
前期の音楽表現指導法実習Ⅰを継続して行う。それらを通じて、保育現場での指導内容を、よりの確に実践する力を形成する。さらに授業の後半には、学科行事であるミュージックフェスティバルの練習や小道具の作成も行い、表現研究の集大成とする		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、子ども・保護者・地域住民との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	保育・幼児教育を取り巻く様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	保育・幼児教育の分野において、基礎知識を身につけるとともに、使命感、倫理観、責任感をもって専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)			30	70	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》
備考		

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
受講態度	意欲的、自発的でありとても熱心である。	指導をうけた事を吸収しようとする。	アドバイスをすると前向きにとらえる事が出来る。	欠席せず、受講の態度の改善を必要とする。
表現意欲	人前で表現活動を堂々としてすることができる。また知識や技能を高める工夫がみられる。	人前で表現活動を行うことができる。また知識や技能を高めようとしている。	人前で表現活動を行うことに躊躇する。また知識や技能を発揮しようとしている。	人前で表現活動を行うことに抵抗がある。また知識や技能を高める努力をしない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間
第1回 後期授業内容について	シラバスの内容確認	40分
第2回 3歳児に向けて音楽表現について(歌唱活動を中心に)	3歳児の発達を知り、活動内容を考える	40分
第3回 3歳児に向けて音楽表現について(小グループで共同研究)	3歳児の発達を知り、活動内容を考える	40分
第4回 3歳児に向けて音楽表現の小グループで発表と振り返り	発表の準備と練習、そして反省点をまとめておく	40分
第5回 4歳児に向けて音楽表現について(歌唱活動を中心に)	4歳児の発達を知り、活動内容を考える	40分
第6回 4歳児に向けて音楽表現について(小グループで共同研究)	4歳児の発達を知り、活動内容を考える	40分
第7回 4歳児に向けて音楽表現の小グループで発表と振り返り	発表の準備と練習、そして反省点をまとめておく	60分
第8回 「KINJOおやこひろば」で音楽表現の可能性を探る①	音楽表現の楽曲を準備し、見通しを持って準備を進めておく	40分
第9回 「KINJOおやこひろば」で音楽表現の可能性を探る②	音楽表現の楽曲を準備し、見通しを持って準備を進めておく	40分
第10回 「KINJOおやこひろば」での実践演習	小グループや数人のグループで発表を行うとともに、乳幼児との関わりを深める	40分
第11回 「KINJOおやこひろば」での実践演習の振り返り	現場での表現する場面に備えるよう反省点を見つけ、今後の課題としておく	40分
第12回 ミュージックフェスティバルで演奏の可能性を探る	音楽表現の可能性を行事の中でいかに表現するかを考え、実技面の向上に繋げる	40分
第13回 ミュージックフェスティバルで演奏の練習①	音楽表現の可能性を行事の中でいかに表現するかを考え、実技面の向上に繋げる	40分
第14回 ミュージックフェスティバルで演奏の練習②	音楽表現の可能性を行事の中でいかに表現するかを考え、実技面の向上に繋げる	60分
第15回 ミュージックフェスティバルで演奏の練習③と振り返り	授業や行事を通して、音楽表現について学んだことを整理し、まとめる	60分
<p>事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。 また、事前事後学修としては、次回までの保育実践演習の内容演習と保育実践指導案をまとめることになる。</p>		
成績評価の方法・基準		
<p>定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。</p> <p>音楽表現技能や大短連携事業での取り組み及び、ミュージックフェスティバルの取り組み意欲にて評価 各場面における音楽表現技能70% ミュージックフェスティバル30%</p>		
課題に対するフィードバック		
<p>実践演習や各取り組みのまとめはチェックして返却。ミュージックフェスティバルでの演奏体験を保育現場でどのように今後生かしていくかを反省会の要点とし、その内容と指導を行う。</p>		
教科書・参考書		
<p>参考資料、楽曲楽譜などは適宜配布する。</p>		